



2026 年

後期トレセンスタッフ研修会 兼 B/C 級リフレッシュ研修会

報告書



日程：2026 年 7 月 26 日(日)

場 所：講義会場・岐阜県立岐阜高等学校 大会議室 実技会場・新日本ガス球技メドウ

参 加 者：地区ダイレクター・県/地区トレセンチーフコーチ・県/地区トレセン GK コーチ その他

講 師：松永 英機 氏(技術委員長 兼 FA コーチ) / 杉山 貴昭 氏(ユースダイレクター)

吉田 敬 氏(国スポ少年男子監督)

【内容】

講義

- ・ G-ACTION 2030 リニューアル版の共有
- ・ FA コーチから見た岐阜県の成果と課題
- ・ ミニ国から見た岐阜県の成果と課題

実技

- ・ ミニ国の試合映像を分析、課題を抽出しトレーニングを考案
- ・ 指導実践：各地区のチーフコーチが考案したトレーニングの実践交流（アシスタントコーチ役、GP コーチ役とのリレーションを行い実施）

【参加者の感想】

- ・ 今回の研修を通して、トレセン活動における選手の発掘・育成について改めて考えることができました。特に「我々の仕事は種まきであり、その成果は将来的に出てくる」という言葉が印象に残りました。目の前の結果だけで選手を評価するのではなく、選手の将来性や成長過程を見ながら、長い目で関わるのが大切だと感じました。
- ・ G-ACTION 2030 のリニューアルが興味深かったです。キーワードの簡素化は良いことだと思います。覚えやすくなったので、指導現場でも意識しやすくなったと思います。
- ・ 守備におけるコミュニケーションの指導をもっと重要視しないといけないと感じた。今受けている B 級と照らし合わせながら、トレーニング設計や指導の部分で勉強になることがたくさんあった。

【講義・実技の様子】



【担当者より】

今回のトレセンスタッフ研修会では、「G-ACTION 2030」を共通言語として、岐阜県全体の育成の方向性と一貫性を再確認するとともに、その理念を各現場で実践へとつなげることを目的に開催しました。リニューアルした「G-ACTION 2030」の内容を共有し、理念の理解を深めるだけでなく、「現場でどう実践するか」に焦点を当てた実践的な研修となりました。

FA コーチからは、全国的な育成の動向や指導の本質について多くの学びと示唆をいただきました。岐阜県が目指す育成の方向性を改めて確認するとともに、「G-ACTION 2030」の考え方を日々のトレーニングや選手への働きかけにどのように落とし込んでいくかについて、具体的な視点を共有することができました。

また、国スポ少年男子の試合映像をもとに、グループごとに映像分析を行い、課題の抽出、指導案の作成、そして指導実践までを一貫して実施しました。活発なディスカッションを通して、多様な視点やアイデアが共有されるとともに、分析結果を指導実践へ結び付けるプロセスを体現する内容となりました。

本研修を通じて、「G-ACTION 2030」を単なる理念として共有するだけではなく、各地区・各カテゴリーが同じ方向性のもとで実践を積み重ねることの重要性を再認識することができました。今後は、今回の学びや実践を各地区・各チームへ還元し、情報共有と実践・検証を繰り返しながら、岐阜県全体の育成力向上へとつなげていきます。

「指導者が変われば、選手が変わる。」

この信念のもと、岐阜県が一体となり、同じ方向を向いて選手育成に取り組み、未来へとつながる育成環境の構築を推進してまいります。